

沿岸漁業復活プロジェクト研究会・工程表

2010.05.24

資料 4

社) 日本プロジェクト産業協議会
沿岸漁業復活プロジェクト研究会 事務局

スケジュール ～研究会の推進イメージ～

沿岸漁業復活プロジェクト研究会

初年度

次年度

3年度以降

課題の抽出・課題の共有化

- 勉強会
 - ・ 学識経験者
 - ・ 関係省庁
- 情報収集
 - ・ 関連企業
 - ・ 関連団体
- 討議
 - ・ 問題提起
 - ・ 意見交換
 - ・ 意見調整

課題解決方法・政策等の検討

- ソフト面の提案
- ハード面の提案
- 政策面の提案

等

▼モデル地域の選定（国内3カ所程度）

沿岸域再生WG

▼個別課題検討WG

- ・ 藻場及び干潟の再生技術
- ・ 水産加工業の合理化集約化
- ・ ITを利用した流通ネットワーク

CO₂固定化認定WG

▼準備活動

- ・ 情報収集、文献調査
- ・ 研究活動、委員会準備 等

政府への提

官民連携の強化

民間主導型プロジェクトの実現

モデル地区での実行・検証

- 藻場・干潟の再生
 - ・ 3ヶ所程度
 - ・ 1ヶ所約10km
 - ・ 総延長：約30km
- 水産業の高付加価値化
 - ・ 漁獲方法の近代化
 - ・ 加工技術の近代化
 - ・ 漁業と消費者との交流
 - ・ 観光産業との連携
- ITネットワークの構築
 - ・ 消費地との連携
 - ・ ユーザーニーズの分析
 - ・ 新たな販売モデルの構築
 - ・ システムの構築

▼シンポジウムなど啓発活動

▼モデル地区での個別課題対応

- ・ 企画及び計画立案
- ・ 技術検証及び経済性等の検証
- ・ モデル地区でのPDCA

▼委員会活動

- ・ 研究成果の水平展開、啓発活動
- ・ 新しい制度へ向けた制度設計 等

全国規模へ拡大

- 水産業の産業規模拡大
2兆円産業へ（加工・観光含む）
- 地域活性化・地域雇用の促進
30万人の地域雇用
- 海洋藻類のCO₂固定化推進
CO₂削減に寄与（2%相当）

▼全国における個別課題対応

- ・ 具体的な計画立案及び技術指導
- ・ 個別事業の推進
- ・ フォローアップ

▼2年後に日本国内でのルール及び基準化

5年後にIPCCでの認定を目指す

▼（仮）スマートグリーンオーシャン研究会・立上げ
再生エネルギー・海洋バイオマス 等